



平成27年12月号



# 概 況

最近の県内経済は、持ち直している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は再びプラスとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で2ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は、持家、貸家が2桁減少となり、再びマイナスとなった。公共投資は、国、県が大幅に増加し、全体では再びプラスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数(季節調整値)は前月比1.2%減少の105.7と、3ヶ月ぶりにマイナスとなった。県産米2銘柄は前年同月比で大幅上昇した。27年県産リンゴ販売は、県外出荷量が減少したものの、消費地市場価格が前年を上回り、県外市場販売額は前年比7.7%増となった。八戸港の水揚げは、数量、金額ともに減少した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比で0.01ポイント上昇の0.97倍となり、昭和38年の集計開始以来最高となった。景気改善を背景に、雇用情勢の改善は継続している。

**○個人消費** 10月の**百貨店・スーパー販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比3.5%増となった。業態別では百貨店が同1.2%増、スーパーは同4.2%増となった。10月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比4.5%減の4,353台と2ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同3.8%増と再びプラス、届出車は同13.6%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。

**○住宅投資** 10月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比4.7%減となり再びマイナスとなった。持家が同13.3%減、貸家が同13.5%減、分譲住宅が同175.0%増となった。

**○公共投資** 10月の**公共工事請負額**は、全体で前年同月比31.2%増の191億600万円と再びプラスとなった。独立行政法人等が同95.1%減、市町村が同2.5%減となったものの、国が同153.6%増、県が同102.6%増などとなった。

**○一次産業** 農林水産省の発表によると、27年県産米の**相対取引価格**(27年10月)は「つがるロマン」が前年同月比12.4%上昇、「まっしぐら」が同12.0%上昇となった。

**27年県産リンゴ販売**は、県外出荷量が前年同月比6.5%減となったものの、消費地市場価格が同18.1%上昇し、県外市場販売額は同7.7%増となった。10月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比4.3%減、金額は同18.7%減となった。

**○生産活動** 9月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、電気機械、電子部品・デバイスなどが低下し、前月比1.2%減少の105.7と3ヶ月ぶりにマイナスとなった。原指数では金属製品、電子部品・デバイス、非鉄金属などが低下し、前年同月比2.6%低下の106.8と再びマイナスとなった。

# 一 次 産 業

## 米

### ☆ 「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月比大幅上昇

農林水産省が発表した「平成 27 産米の相対取引価格（平成 27 年 10 月）」によると、県産米の相対取引価格（玄米 60kg 当たり税込み価格）は「つがるロマン」が前年同月比 12.4%上昇の 1 万 1,556 円、「まっしぐら」は同 12.0%上昇の 1 万 1,323 円となった。

公表された 100 銘柄の平均価格は 1 万 3,116 円となり、前月比 0.5%低下、前年同月比 7.4%上昇となった。価格が最も高かったのは新潟「コシヒカリ（魚沼）」で 2 万 383 円であった。前年同月比で見ると、比較可能な 89 銘柄のうち 85 銘柄が上昇し、そのうち上昇幅が大きかったのは、徳島「こしひかり」（33.5%）、岩手「いわてっこ」（26.3%）などであった。

平成27年産米（東北・北海道主要銘柄）の相対取引価格の推移

（単位：円/玄米60kg税込）

産地	品種	27年9月	27年10月	前月比	26年10月	前年同月比
青森	つがるロマン	11,697	11,556	-1.2	10,281	12.4
	まっしぐら	11,210	11,323	1.0	10,106	12.0
岩手	ひとめぼれ	13,004	12,954	-0.4	11,795	9.8
宮城	ひとめぼれ	12,559	12,782	1.8	12,227	4.5
秋田	あきたこまち	12,819	12,805	-0.1	11,679	9.6
山形	つや姫	18,074	17,946	-0.7	16,813	6.7
北海道	ななつぼし	13,356	12,995	-2.7	12,628	2.9
北海道	ゆめぴりか	17,080	16,447	-3.7	16,876	-2.5
全銘柄平均価格		13,178	13,116	-0.5	12,215	7.4

相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格）を加重平均したもの。

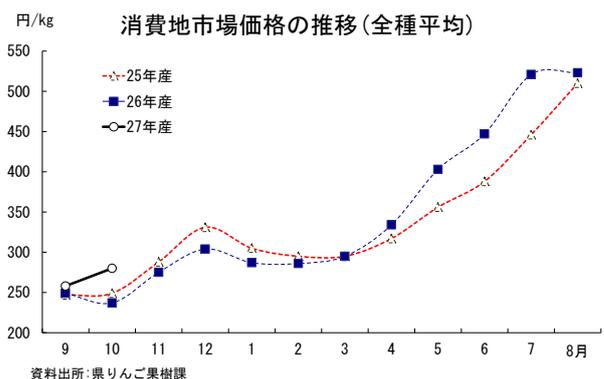
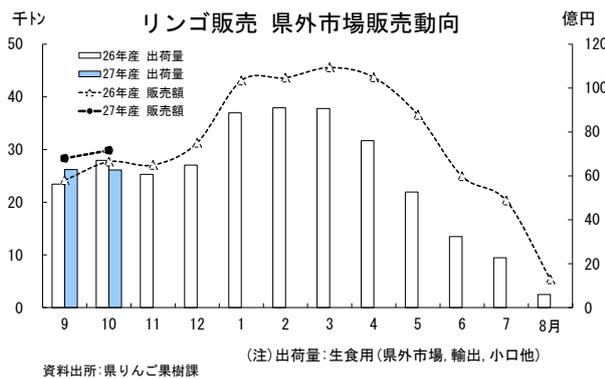
資料出所：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

## りんご

### ☆ 県外市場販売額、前年同月比 7.7%増

27 年県産りんご販売、10 月の県外出荷量は前年同月比 6.5%減の 2 万 6,121 トンとなった。これは前 3 ヶ年の 10 月平均出荷量を 0.3%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比 17.6%上昇、前 3 ヶ年比較では 35.7%上昇の 247 円/kg となった。一方、消費地市場価格は「早生ふじ」が前年同月比 15.6%上昇の 304 円/kg、「つがる」が同 23.4%上昇の 216 円/kg、合計では同 18.1%上昇、前 3 ヶ年比較で同 14.8%上昇の 280 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 7.7%増、前 3 ヶ年比較で 13.9%増の 71 億 6,300 万円となった。

平成 27 年産県産りんごの消費地市場価格は、入荷量が少なかったことに加え、品種間での出荷リレーが円滑に進んだことや、食味が良好だったことなどから、価格は高値で推移した。

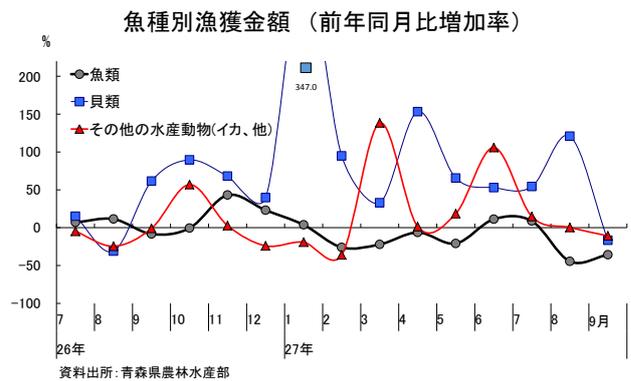
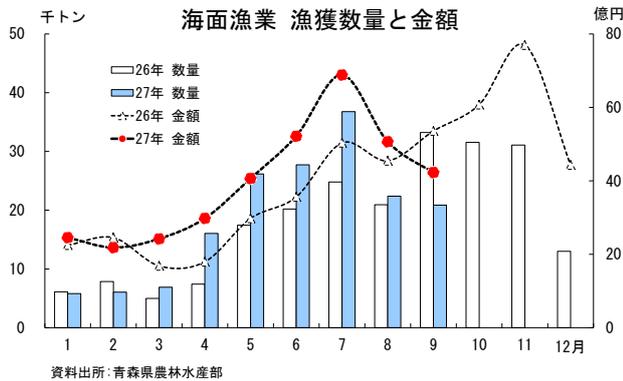


## 海面漁業

### ☆ 9月の海面漁業、漁獲数量、漁獲金額ともに減少

9月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 37.2%減の 2 万 863 トン、漁獲金額が同 21.0%減の 42 億 2,833 万円となった。これは前年同月に比べ、マイワシ、サバ、ホタテガイ（新貝）等の漁獲数量が減少したことによる。

魚種別にみると、「魚類」は、サバ、マイワシが大幅に減少し、数量が前年同月比 52.2%減の 1 万 1,084 トン、金額は同 35.7%減の 18 億 216 万円となった。「貝類」はホタテガイ（新貝）の水揚げが大幅に減少し、数量が同 38.0%減の 1,635 トン、金額は同 16.8%減の 3 億 6,773 万円となった。「その他の水産動物」はスルメイカ（近海・生）の減少が全体を押し下げ、数量が同 1.1%減の 6,940 トン、金額は同 10.8%減の 17 億 9,475 万円となった。



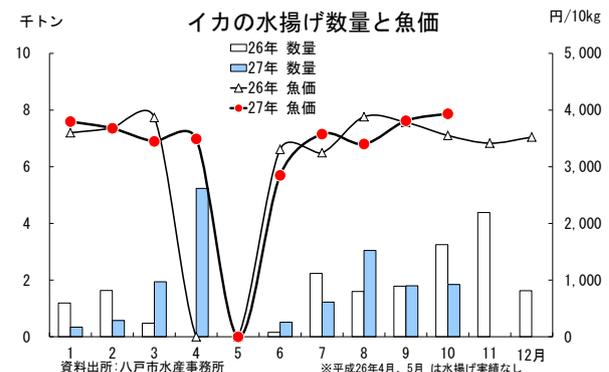
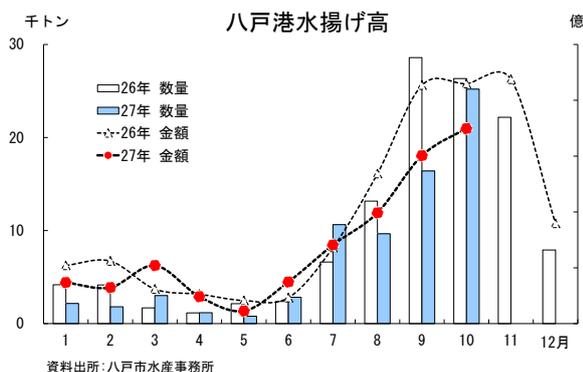
## 八戸港水揚げ

### ☆ 10月水揚げ、数量 4.3%減、金額 18.7%減

10月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 4.3%減の 2 万 5,200 トン、金額は同 18.7%減の 34 億 9,406 万円となった。

イカ釣り漁は、船凍スルメイカ、前沖での近海生スルメイカともに減少し、数量、金額とも前年実績を下回った。数量は前年同月比 43.2%減の 1,846 トン、金額は同 37.1%減の 7 億 2,644 万円となった。大中型旋網漁は、マイワシやイナダが好漁となり、数量が同 24.7%増の 2 万 45 トン、金額が同 19.0%増の 20 億 5,812 万円と増加した。機船底引き網漁は、前沖のスルメイカ漁を主体に操業したが、シケの日が多く、数量が前年同月比 60.8%減の 1,722 トン、金額が同 58.7%減の 4 億 2,881 万円となった。

水揚げ累計（1～10月）は、数量が前年同期比 18.5%減の 7 万 3,724 トン、金額は同 17.9%減の 137 億 8,626 万円となった。



## 二次産業

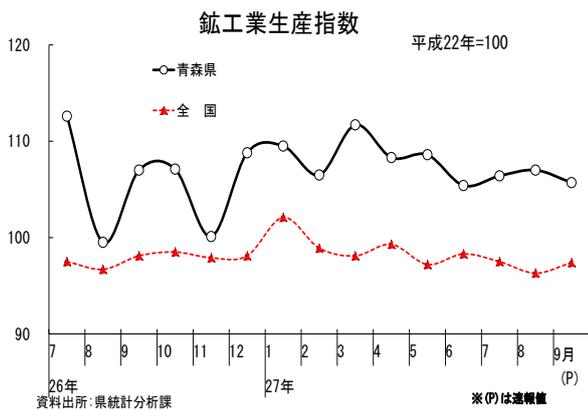
### 鉱工業生産

#### ☆前月比 1.2%減少、3ヶ月ぶりにマイナス

9月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比1.2%減少の105.7と3ヶ月ぶりにマイナスとなった。主要6業種をみると、業務用機械が同13.1%、パルプ・紙が同4.1%、食料品が同3.7%上昇したものの、電気機械が同16.0%、電子部品・デバイスが同5.0%、鉄鋼が同0.3%低下した。

このほかでは、金属製品が同32.4%、非鉄金属が同31.3%、輸送機械が同7.1%それぞれ低下した。

原指数で前年同月と比較すると、鉄鋼、輸送機械、パルプ・紙などが上昇したものの、金属製品、電子部品・デバイス、非鉄金属などが低下し、同2.6%低下の106.8と再びマイナスとなった。



業種別生産指数(平成27年9月)

業種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	105.7	△ 1.2	106.8	△ 2.6
食料品 (2,410.0)	105.6	3.7	106.8	0.3
鉄鋼 (1,200.9)	117.5	△ 0.3	110.9	34.1
電子部品・デバイス (1,048.2)	131.4	△ 5.0	143.2	△ 15.4
業務用機械 (1,005.1)	102.1	13.1	104.5	△ 7.6
パルプ・紙 (722.3)	94.8	4.1	102.4	6.2
電気機械 (429.2)	97.7	△ 16.0	107.5	△ 4.0

資料出所: 県統計分析課

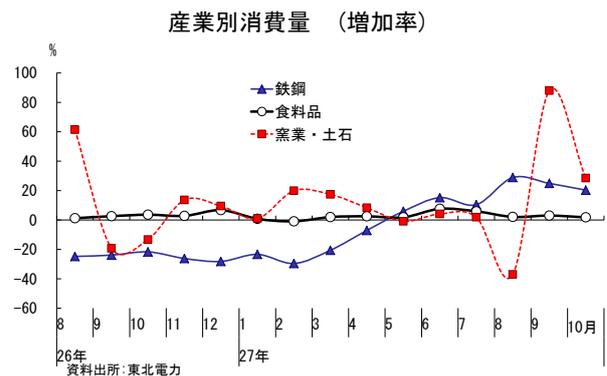
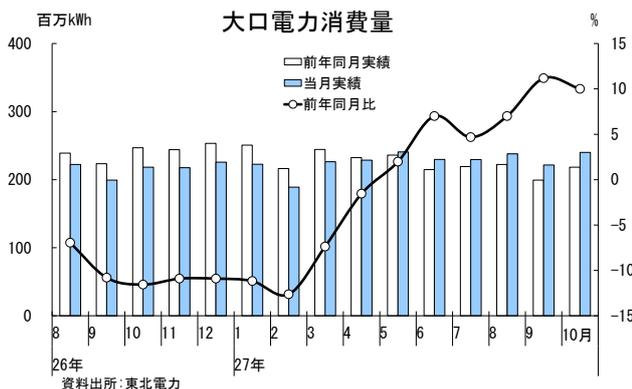
### 大口電力

#### ☆前年同月比 10.0%増、6ヶ月連続のプラス

10月の県内大口電力消費量は、前年同月比10.0%増の2億4,007万kWhとなった。うち製造業は同13.0%増の1億7,907万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウエートの高い鉄鋼が同20.3%増となったほか、窯業・土石が同28.5%増、紙・パルプが同5.7%増、化学が同3.3%増、食料品が同1.8%増などとなった。一方、非鉄金属は同2.5%減、機械は同1.5%減などとなった。

当月の県内大口電力消費量は、製造業で、消費ウエートの高い鉄鋼が、前年の定期補修等に伴う生産設備の稼働減からの反動増等がみられたほか、窯業・土石、紙・パルプなどが前年実績を上回り、全体では6ヶ月連続のプラスとなった。



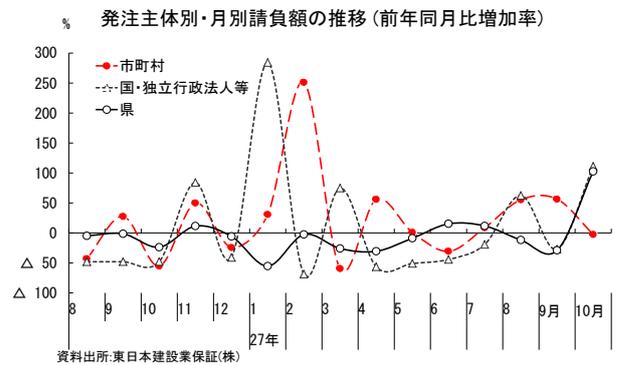
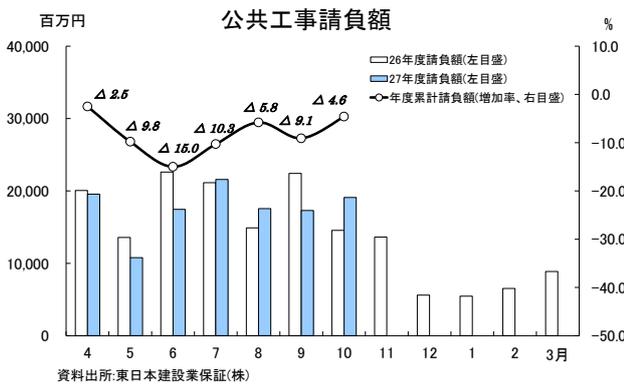
## 公共工事

### ☆前年同月比 31.2%増、再びプラス

10月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比31.2%増の191億600万円と、再びプラスとなった。

当月の請負額は、国が国土交通省で大幅に増加し、同153.6%増の50億4,700万円となった。独立行政法人等は弘前大学等で減少し、同95.1%減の2,000万円となった。県は、県土整備部で大幅に増加し、同102.6%増の72億2,200万円となった。市町村は、むつ市、八戸市、階上町などで増加したものの、弘前市、風間浦村、五所川原市などで減少し、同2.5%減の57億5,600万円となった。

当月は独立行政法人などで減少したものの、国、県が大幅に増加し、全体では前年同月を大きく上回った。



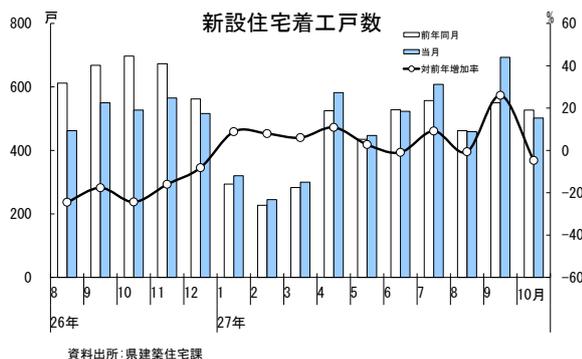
## 住宅着工

### ☆前年同月比 4.7%減、再びマイナス

10月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比4.7%減の502戸と再びマイナスとなった。利用関係別では、持家が同13.3%減、貸家が同13.5%減、分譲住宅が同175.0%増となった。

地域別にみると、全体では、十和田市、三沢市、つがる市、郡部で増加したものの、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、むつ市、平川市で減少した。

持家は、五所川原市、三沢市、むつ市で増加したものの、青森市、弘前市、八戸市、十和田市などで減少した。貸家は、郡部、つがる市、十和田市などで増加したものの、弘前市、五所川原市、むつ市などで減少した。年間新設住宅着工累計(1~10月)は、前年同期比6.6%(291戸)増の4,679戸と、前年実績を上回る状況となっている。



### 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	27年 10月	26年 10月	前年 同月比
持家	301	347	△13.3
貸家	135	156	△13.5
給与住宅	0	0	-
分譲住宅	66	24	175.0
総戸数	502	527	△4.7

資料出所: 県建築住宅課

# 三 次 産 業

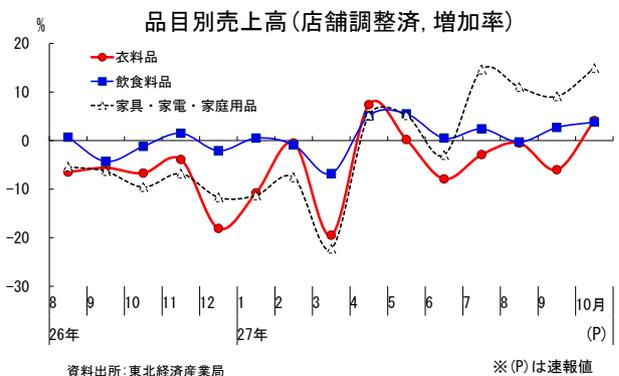
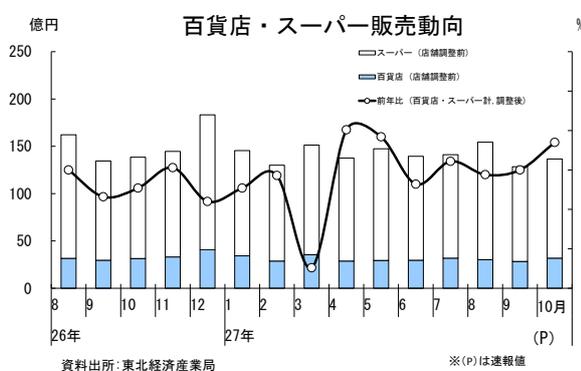
## 百貨店・スーパー販売

☆前年同月比 3.5%増、百貨店、スーパーとも増加

10月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 3.5%増と再びプラスとなった。業態別では百貨店が同 1.2%増、スーパーが同 4.2%増となった。

品目別では、衣料品が同 4.1%増、ウエートの高い飲食料品が同 3.8%増、家具・家電・家庭用品が同 14.9%増となった。衣料品は、単品買いが目立ったものの、平均気温が下がり冬物商品への需要が高まった。食料品は、「青天の霹靂」が売上を牽引したほか、鮮魚、野菜、惣菜などに動きがみられ、前年を上回った。家具・家電・家庭用品は、家具が住宅の新築増の影響などにより売り上げを伸ばし、家電製品が 4K など大型サイズのテレビの盛況や、暖房機器の動きが本格化し大きく売上を伸ばした。

今月は、気温の低下から冬物に動きがあったほか、食料品、家具・家電・家庭用品ともに好調で、全体でも前年同月を上回った。

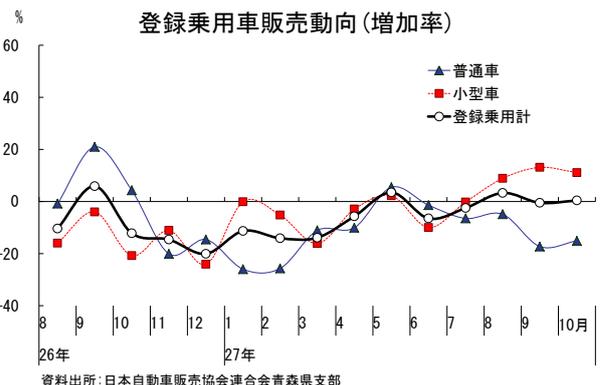
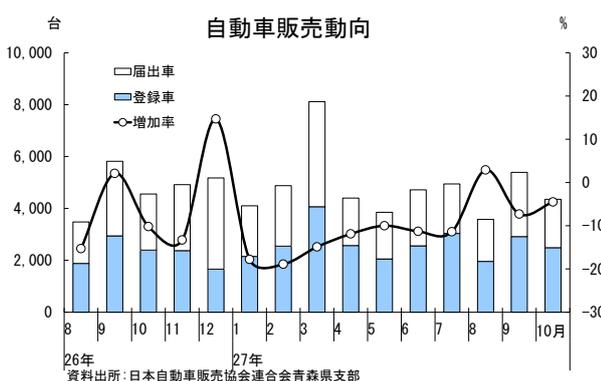


## 自動車販売

☆前年同月比 4.5%減、2ヶ月連続のマイナス

10月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 4.5%減の 4,353 台と 2ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 15.1%減、小型乗用車が同 11.1%増、貨物車が同 7.1%増となり、登録車合計では同 3.8%増の 2,486 台と再びプラスとなった。届出車は乗用車が同 21.3%減、貨物車が同 10.9%増となり、届出車合計では同 13.6%減の 1,867 台と 2ヶ月連続のマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 0.4%増となり、全体では同 9.4%減と 2ヶ月連続のマイナスとなった。

当月の自動車販売は、登録車が増加したものの、届出乗用車が大幅に減少し、全体では 2ヶ月連続のマイナスとなった。



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

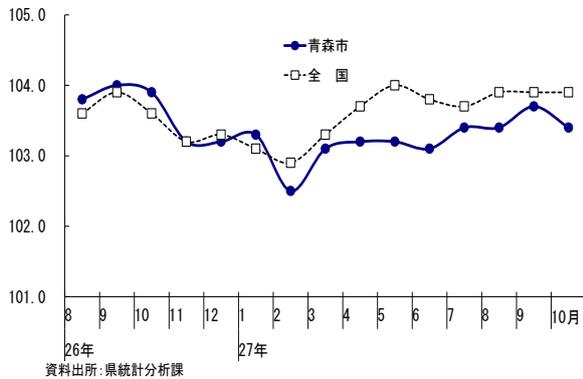
☆前月比 0.3%下落、前年同月比 0.5%下落の 103.4

10月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.3%下落、前年同月比0.5%下落の103.4となった。主要費目別に前月と比べると、「食料」が生鮮果物などの値下がりにより0.7%低下したほか、「光熱・水道」がガス代の値下がりなどにより0.9%低下した。一方、「家具・家事用品」が寝具類などの値上がりにより1.7%上昇した。

前年同月との比較では、「光熱・水道」(△11.3%)、「被服及び履物」(△3.1%)、「交通・通信」(△3.1%)などの下落が目立った。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は、前月比0.1%下落、前年同月比1.0%下落の102.6となった。

消費者物価指数(平成22年=100)



費目別指数の動き(平成27年10月)

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.4	△ 0.3	△ 0.5
食 料	106.1	△ 0.7	2.9
住 居	100.3	0.2	1.0
光熱・水道	107.4	△ 0.9	△ 11.3
家具・家事用品	93.3	1.7	2.1
被服及び履物	103.9	0.2	△ 3.1
保健医療	100.9	△ 0.1	2.0
交通・通信	103.3	△ 0.3	△ 3.1
教 育	100.9	0.0	0.9
教養娯楽	99.9	△ 0.8	1.9
諸 雑 費	109.7	0.0	0.6

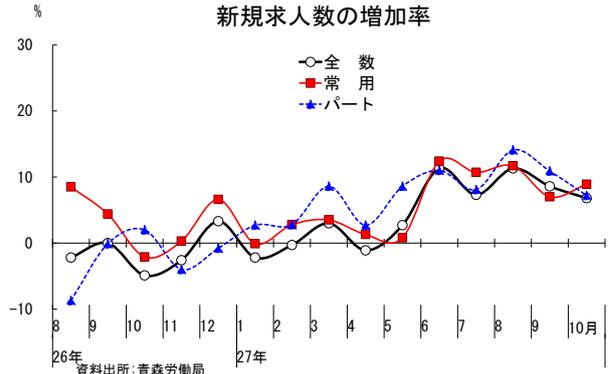
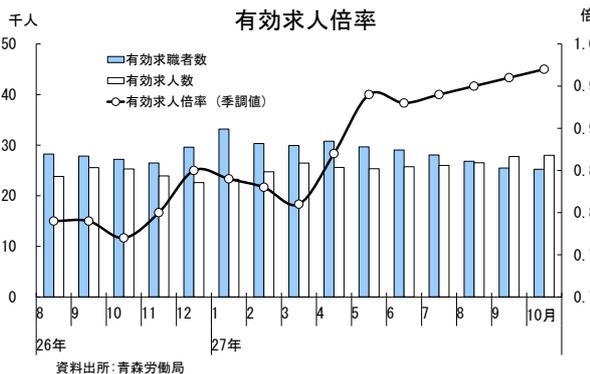
資料出所: 県統計分析課

## 雇用動向

☆有効求人倍率、0.97倍、過去最高

10月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比10.7%増の2万8,005人、有効求職者数は同7.2%減の2万5,241人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント上昇の0.97倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比8.9%増、臨時・季節求人数が同6.9%減、パート求人数が同7.2%増となり、全数では同6.8%増の1万1,007人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、情報通信業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業などで減少したものの、建設業、卸売・小売業、教育、学習支援業などで増加した。

県内の雇用状況は、有効求人倍率が先月比でやや上昇し、昭38年の集計開始以来最高となった。県内景気の改善を背景に、雇用情勢の改善は続いている。



## 企業倒産

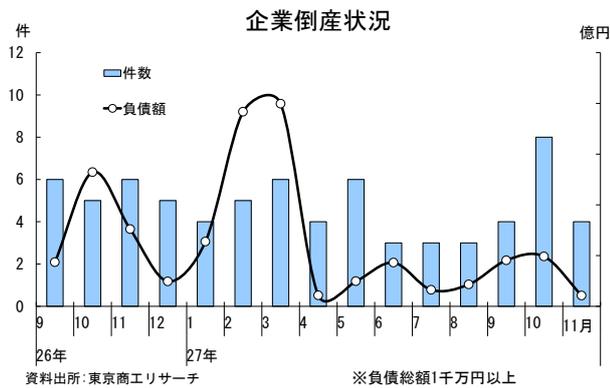
### ☆負債総額、前年同月比 6 億 5,400 万円減の 1 億 600 万円

11月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で2件減の4件、負債総額は同6億5,400万円減の1億600万円となった。前月比では件数が4件減、負債総額は3億8,500万円減となった。業種別では、建設業、卸売業、情報通信業、サービス業他が各1件となった。地域別では、弘前市、五所川原市、むつ市、南津軽郡にて各1件の発生となった。原因別では、4件とも販売不振であった。

県内の企業倒産件数は、引き続き一桁台と小康状態が続いている。負債総額は、すべてが小規模倒産であり、前年同月比、先月比でも大幅減少となり、今年最少を記録した。

単月での従業員被害者数は8名となり、1月からの年間累計で321名となった。

業種別・原因別件数（平成27年11月）



業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業	1	過小資本	
製造業		他社倒産の余波	
卸売業	1	既存のシワ寄せ	
小売業		信用低下	
金融・保険業		販売不振	4
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業	1	設備投資過大	
サービス業 他	1	その他	
合計	4	合計	4

資料出所：東京商工リサーチ（負債総額1千万円以上）

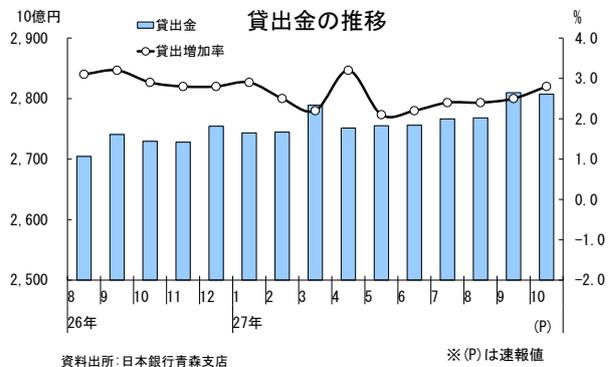
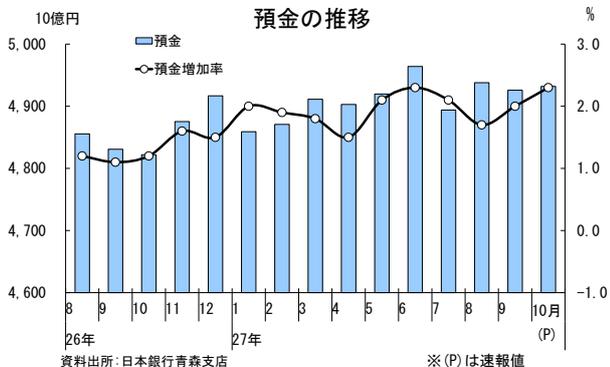
## 金融動向

### ☆預金、貸出金とも 30 ヶ月連続のプラス

10月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.3%増の4兆9,320億円、貸出金は同2.8%増の2兆8,072億円とそれぞれ増加した。

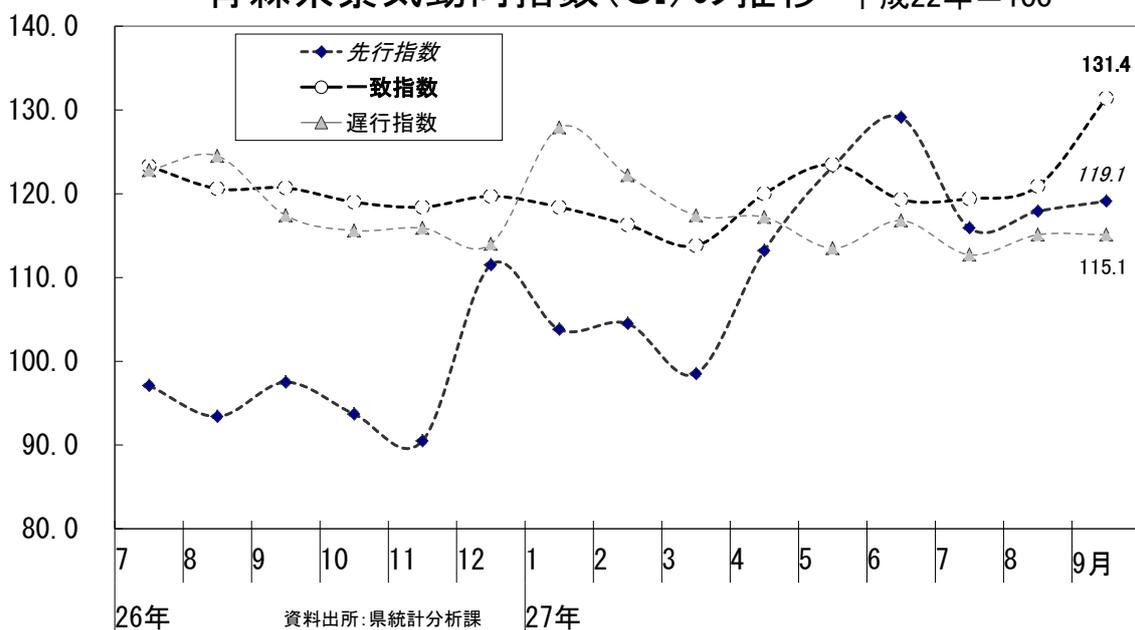
預金は法人預金、個人預金が前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比0.3ポイント増加し、30ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は法人向けが前年を下回ったものの、個人、地公体向けが前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比0.3ポイント増加し、30ヶ月連続のプラスとなった。



# 青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成22年=100



## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示  
下段: 寄与度

採用系列名	27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 大型小売店販売額(既存店)	○ 3.93	● △ 0.41	● △ 2.24	○ 0.98	● △ 0.66	○ 0.17
2. 旅行取扱高	○ 1.37	● △ 0.52	○ 0.11	● △ 1.19	○ 0.43	○ 0.95
3. 鉱工業生産指数	● △ 0.97	○ 0.09	● △ 0.99	○ 0.30	○ 0.18	● △ 0.42
4. 大口電力使用量	○ 1.48	○ 1.38	○ 0.13	● △ 0.93	○ 1.11	○ 0.01
5. 有効求人倍率(全数)	○ 3.40	○ 3.05	● △ 1.38	○ 0.06	○ 0.04	○ 0.06
6. 輸入通関実績(八戸港)	● △ 0.80	○ 0.40	○ 0.03	○ 0.18	○ 0.13	○ 1.91
7. 東北自動車道IC利用台数	○ 1.61	○ 0.45	○ 0.14	○ 0.46	○ 0.11	○ 3.50

資料出所: 県統計分析課

### ※ 景気動向指数 (C I : Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。C Iには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. C Iは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。C Iが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### ☆概況

国内景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。個人消費は総じてみれば底堅い動き。住宅建設は総じて持ち直している。設備投資は、おおむね横ばい。輸出は弱含み、輸入はおおむね横ばい。生産は、このところ弱含んでいる。企業収益は改善。雇用情勢は改善傾向。消費者物価は緩やかに上昇。国内企業物価は緩やかに下落している。

### ☆百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

#### —前年同月比 2.9%増、4ヶ月連続のプラス—

10月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2.9%増と4ヶ月連続のプラスとなった。業態別にみると、百貨店が同 4.2%増、スーパーが同 2.3%増となった。商品別にみると、衣料品が同 2.9%増、飲食料品が同 2.3%増、その他商品が同 4.9%増となった。

### ☆住宅建設

#### —8ヶ月ぶりのマイナス—

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.5%減の7万7,153戸と8ヶ月ぶりのマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 2.4%増と6ヶ月連続で増加したものの、貸家が同 2.6%減と6ヶ月ぶりに減少したほか、分譲住宅が同 9.5%減と2ヶ月連続で減少し、全体を押し下げた。

### ☆企業倒産

#### —件数7ヶ月連続減少、負債総額再び減少—

10月の企業倒産は、件数が前年同月比 7.3%減の742件、負債総額は同 14.4%減の1,062億円となった。倒産件数は7ヶ月連続で減少、負債総額は再び減少した。10月としては、件数が25年ぶりに800件割れとなったほか、負債総額はバブル景気時以来の低水準となった。

### ☆為替動向

#### —11月末終値 122円 82銭—

11月の東京為替市場は前月末から続伸120円台半ばでスタート。上旬は米利上げ観測と日経平均株価の上昇などから123円半ば近くまで円安が進んだ。中旬は米利上げ観測をめぐり123円台を挟む展開となった。下旬はトルコ軍によるロシア軍機の撃墜報道や中国・上海株の大幅安などから運用リスク回避で円が買われるも、米利上げが再度意識され円が売られた。月末終値は122円82銭。

### ☆鉱工業生産指数

#### —前月比 1.4%上昇—

10月の鉱工業生産指数は前月比 1.4%上昇の98.8(季節調整値)と2ヶ月連続で上昇した。はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、電子部品・デバイス等が上昇し、化学(除、医薬品)、情報通信機械、非鉄金属等が低下した。11月は、情報通信機械、電気機械、電子部品・デバイスの上昇により前月比 0.2%の上昇を予測。

### ☆新車販売（除く軽自動車）

#### —前年同月比 0.3%増、2ヶ月連続のプラス—

11月の国内新車販売は前年同月比 0.3%増の23万9,815台と2ヶ月連続のプラスとなった。乗用車が同 0.4%減、貨物車は同 3.9%増となった。乗用車は普通乗用車が同 1.1%増と5ヶ月ぶりのプラス、小型乗用車は同 2.0%減と4ヶ月ぶりのマイナスとなった。

### ☆完全失業率

#### —前月比 0.3ポイント低下の 3.1% —

10月の完全失業率は前月比 0.3ポイント低下の3.1%となった。完全失業者数は前年同月比 25万人減の208万人となり、65ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が4万人減の87万人、勤め先や事業の都合が同7万人減の39万人などとなった。

### ☆消費者物価指数

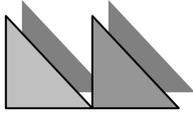
#### —前月比 0.1%下落の 103.9—

10月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.1%下落、前年同月比 0.3%上昇の103.9となった。前月に比べ、食料、交通・通信、光熱・水道などが下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.1%下落の103.5となった。

### ☆国際収支

#### —経常収支、16ヶ月連続で黒字—

10月の経常収支額は1兆4,584億円と16ヶ月連続で黒字となった。前年同月比では黒字幅が拡大した。第一次所得収支が黒字幅を縮小したものの高水準で推移し、貿易・サービス収支が赤字幅を縮小したこと等から、経常収支は黒字幅が拡大した。内訳は、第一次所得収支が1兆7,315億円の黒字、貿易・サービス収支が1,371億円の赤字、第二次所得収支が1,360億円の赤字となった。



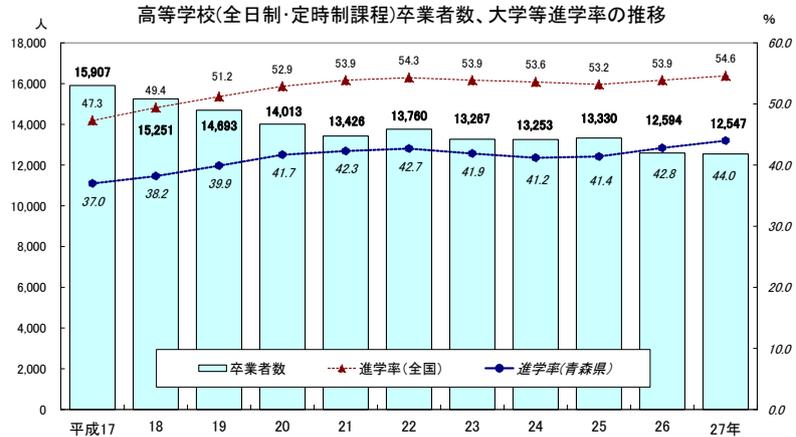
# 今月の統計

## 青森県の大学等進学状況

文部科学省がまとめた「学校基本調査」および青森県教育委員会がまとめた「高等学校等卒業者の進路状況」(平成27年5月1日現在)によると、平成27年3月高等学校(全日制・定時制課程)卒業者数は前年比47人減の

1万2,547人、うち大学等進学者数は同136人減の5,522人であった。大学等進学率は同1.2ポイント上昇の44.0%となり、3年連続で上昇した。

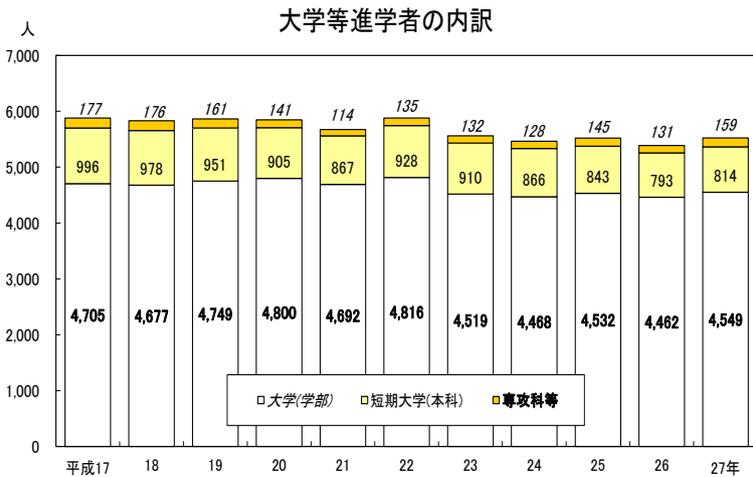
本県の大学等進学率の全国順位は47都道府県中38位であり、全国平均の54.5%を10.5ポイント下回った。



資料出所: 文部科学省、青森県教育委員会

平成27年3月高等学校卒業者の大学等進学者の内訳をみると、大学(学部)への進学者数が前年比87人増の4,549人、短期大学(本科)への進学者数が同21人増の814人、専攻科等への進学者数が同28人増の159人と、それぞれ前年を上回った。卒業者数に占める割合は大学が36.3%、短大が6.5%、専攻科等が1.2%となった。

大学(学部)及び短期大学(本科)への入学志願状況をみると、志願者数は前年比88人減の5,710人、進学者数は同108人増の5,363人となった。入学志願率は同0.5ポイント低下の45.5%、入学率は同3.3ポイント上昇の93.9%となった。



注: 「専攻科等」は高校、盲学校・聾学校・養護学校高等部の専攻科、大学・短大の別科・通信教育部、放送大学

資料出所: 文部科学省、青森県教育委員会

### 大学(学部)、短期大学(本科)の入学志願率・入学率の推移

	卒業者数	入学志願者数	進学者数	入学志願率	入学率
	(人)	(人)	(人)	(%)	(%)
平成22年3月	13,760	6,259	5,744	45.5	91.8
23年3月	13,267	5,975	5,429	45.0	90.9
24年3月	13,253	5,854	5,334	44.2	91.1
25年3月	13,330	5,778	5,375	43.3	93.0
26年3月	12,594	5,798	5,255	46.0	90.6
27年3月	12,547	5,710	5,363	45.5	93.9

資料出所: 文部科学省、青森県教育委員会

県内

3日 秋の叙勲、県内関係者は84人

政府は平成27年度秋の叙勲受章者を発表した。本県関係者は84人(うち県外在住者12人)となった。

5日 蕪嶋神社、全焼

八戸市の鮫町にある蕪嶋神社から出火し、木造平屋の社殿約280平方メートルを全焼した。当時、敷地内にはおらず、けが人はなかった。

8日 「弘前城菊と紅葉まつり」の人出、45万人

弘前公園で開かれていた「弘前城菊と紅葉まつり」が閉幕した。10月16日～11月8日の会期中の人出は45万2千人(主催者発表)となり、平成23年の50万人に次ぐ2番目の人出となった。

19日 青森-杭州線、新規就航

県は、中国の北京首都航空(北京市)が来年1月下旬から、青森空港と杭州空港(中国・杭州市)を結ぶ国際定期便を毎週木曜日に1往復すると発表した。青森空港に国際定期便が就航するのは平成7年に韓国・ソウル線、ロシア・ハバロフスク線(現在は運休)が就航して以来、21年ぶりとなる。

新規高卒者の就職内定率74.7%

青森労働局は、来春県内高校を卒業する予定の生徒の就職内定状況(10月末現在)を発表した。就職内定率は前年同月比3.7ポイント増の74.7%となった。うち県内が63.4%、県外は89.0%となり、いずれも過去10年で最高となった。

23日 県産リンゴ、5年ぶりにベトナム向け輸出

国内産リンゴのベトナムへの輸出が5年ぶりに解禁されたことを受け、つがる弘前農協管内で生産された県産リンゴが解禁後初めてベトナムに向け輸出された。

国内

10日 街角景気、3ヶ月ぶりに上昇

内閣府が発表した10月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比0.7ポイント上昇の48.2となり、3ヶ月ぶりに上昇した。

11日 MRJ、初飛行成功

三菱航空機(愛知県豊山町)が開発を進めてきた国産初のジェット旅客機MRJ(三菱リージョナルジェット)が、愛知県営名古屋空港(豊山町)から飛び立ち、初試験飛行に成功した。国産旅客機の開発は昭和37年8月に初飛行したプロペラ機「YS-11」から約半世紀ぶりとなる。

16日 7-9月期四半期のGDP、年率0.8%減

内閣府が発表した平成27年7-9月期の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.2%減、年率換算で0.8%減となり、2-四半期連続のマイナス成長となった。

18日 1月～10月の訪日外客数、昨年の年間記録を上回る

日本政府観光局の発表によると、平成27年1月から10月の訪日外客数累計(推計値)は1,631万人となり、過去最高だった昨年の年間記録(1,341万人)を290万人上回った。

19日 10月の貿易収支、7ヶ月ぶりに黒字

財務省が発表した平成27年10月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は、原油や液化天然ガス(LNG)の価格下落による燃料輸入額の減少などから7ヶ月ぶりに、1,115億円の黒字となった。

24日 平成42年の就業者数、最大790万人減

厚生労働省は、経済のゼロ成長が続き高齢者や女性の就業が進まない場合、15年後の平成42年の全国就業者数は平成26年比で790万人(12.4%)減の5,561万人になるとの推計を発表した。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	百貨店・スー パー販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2009 (H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2014 (H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	9,731	18,741	99.0	892,261	165,257	201,973
2014 (H26) 8	864,799	646,162	450,387	1.214	727	1,358	96.7	73,771	13,974	16,266
9	862,960	652,873	454,907	1.202	827	1,368	98.1	75,882	15,921	15,313
10	865,271	646,936	453,499	1.198	800	1,241	98.5	79,171	14,688	16,065
11	870,990	656,658	456,260	1.195	736	1,155	97.9	78,364	10,689	17,286
12	901,074	660,844	461,147	1.180	686	1,783	98.1	76,416	12,488	21,558
2015 (H27) 1	901,357	658,252	458,485	1.179	721	1,681	102.1	67,713	8,722	17,215
2	886,755	661,723	459,627	1.173	692	1,512	98.9	67,552	9,940	14,986
3	892,520	676,336	465,464	1.158	859	2,236	98.1	69,887	20,662	17,150
4	895,381	673,889	460,756	1.157	748	1,928	99.3	75,617	7,535	16,080
5	899,665	678,655	462,447	1.153	724	1,278	97.2	71,720	7,278	16,928
6	896,714	678,820	464,740	1.141	824	1,269	98.3	88,118	15,503	16,412
7	906,796	674,054	465,907	1.137	787	1,201	97.5	78,263	14,321	17,057
8	910,354	673,470	465,905	1.135	632	979	96.3	80,255	13,760	16,057
9	913,980			1.125	673	2,709	97.4	77,872	15,225	15,114
10	917,792			1.125	742	1,062	98.8	77,153	14,020	16,072
前月比 %	0.4	-0.1	-0.0	0.000% イト	10.3	-60.8	1.4	-0.9	-7.9	-0.1
前年同月比%	6.1	4.2	3.4	-0.073% イト	-7.3	-14.4	-1.4	-2.5	-4.5	2.9
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年々末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2009 (H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	135,925	1,049,397	93.61	153,228
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	193,828	1,096,185	87.75	168,232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	104,013	1,295,841	79.76	165,195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	47,640	1,268,125	79.79	169,679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31	39,317	1,266,815	97.71	188,334
2014 (H26)	4,699	105.1	102.8	-	3.6	17,450.77	26,458	1,260,548	105.79	183,036
2014 (H26) 8	281	106.5	103.7	110.9	3.5	15,424.59	2,494	1,278,011	102.96	187,760
9	432	106.4	103.9	112.3	3.6	16,173.52	9,780	1,264,405	107.09	186,677
10	328	105.5	103.6	112.4	3.5	16,413.76	8,464	1,265,925	108.06	185,780
11	340	105.2	103.2	111.8	3.5	17,459.85	4,402	1,269,079	116.22	186,985
12	360	104.7	103.3	112.8	3.4	17,450.77	2,259	1,260,548	119.40	183,036
2015 (H27) 1	344	103.3	103.1	114.8	3.6	17,674.39	1,018	1,261,103	118.24	176,003
2	413	103.3	102.9	112.7	3.5	18,797.94	14,957	1,251,112	118.57	177,430
3	587	103.5	103.3	111.1	3.4	19,206.99	28,203	1,245,316	120.39	175,260
4	263	103.6	103.7	113.8	3.3	19,520.01	13,362	1,250,073	119.55	177,106
5	279	103.8	104.0	112.0	3.3	20,563.15	18,660	1,245,755	120.74	178,137
6	365	103.6	103.8	113.3	3.4	20,235.73	5,615	1,242,935	123.75	176,769
7	356	103.3	103.7	113.1	3.3	20,585.24	P 18,086	1,242,316	123.23	174,461
8	271	102.7	103.9	112.2	3.4	18,890.48	P 16,531	1,244,150	123.23	169,466
9	400	102.1	103.9	112.3	3.4	17,388.15	P 14,684	1,248,936	120.22	166,020
10	315	P 101.5	103.9	P 114.3	3.1	19,083.10	P 14,584	1,244,211	120.06	165,098
前月比%	-21.2	-0.6	-0.1	2.0% イト	-0.3% イト	9.7	-	-0.4	-0.16	-0.6
前年同月比%	-4.0	-3.8	0.3	-	-0.4% イト	16.3	72.3	-1.7	11.1	-11.1
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超 額 (億円)	県内金融機関		企業倒産 (負債額1千万円以上)		毎月勤労統計調査	
	(人)	社会動態 (人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2009 (H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	254,409	154.2
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	259,231	154.6
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	254,469	154.8
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	253,142	155.0
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	-1,762	48,252	27,298	53	11,199	257,302	154.4
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	-1,957	49,114	27,890	66	9,485		
2014 (H26) 8	1,323,182	-189	-194	48,556	27,045	3	325	225,120	151.4
9	1,322,461	37	-52	48,309	27,407	6	435	226,444	155.9
10	1,321,895	-44	-299	48,219	27,295	5	1,322	220,790	157.8
11	1,321,130	-72	-189	48,753	27,280	6	760	221,752	154.9
12	1,320,329	-187	-662	49,168	27,543	5	245	412,640	154.0
2015 (H27) 1	1,319,297	-166	216	48,591	27,432	4	637	235,821	146.7
2	1,318,059	-419	-100	48,708	27,446	5	1,917	218,323	152.1
3	1,316,886	-5,353	-158	49,114	27,890	6	1,996	227,174	154.7
4	1,310,809	527	-271	49,030	27,513	4	108	223,277	159.6
5	1,310,743	-89	-7	49,198	27,552	6	247	217,872	147.9
6	1,309,993	-114	-243	49,641	27,560	3	430	334,174	160.5
7	1,309,272	-100	-168	48,939	27,665	3	162	263,587	160.7
8	1,308,552	-160	-184	49,379	27,681	3	215	229,076	150.1
9	1,307,723	-101	-210	49,258	28,098	4	453	214,820	155.1
10	1,307,030	-28	-296	P 49,320	P 28,072	8	491		
11	1,306,228		-240			4	106		
前月比 %	-0.1	-	-	0.1	-0.1	-50.0	-78.4	-6.2	3.3
前年同月比%	-1.1	-	-	2.3	2.8	-33.3	-86.1	-6.8	-1.4
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		県統計分析課		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計  
 ※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2009 (H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.56	0.32
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.67	0.40
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.80	0.50
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.96	0.64
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.14	0.78
2014 (H26)	106.9	5,469	3,387	1,721	575	169,394	58,023	1.16	0.81
2014 (H26) 8	101.5	462	308	113	52	14,906	6,938	1.11	0.80
9	109.3	550	363	161	58	22,415	12,546	1.10	0.80
10	107.5	527	347	156	55	14,557	3,564	1.11	0.79
11	102.0	565	272	251	54	13,640	2,727	1.16	0.82
12	109.5	516	258	208	48	5,603	1,923	1.25	0.85
2015 (H27) 1	109.0	320	116	133	28	5,463	817	1.18	0.84
2	106.5	245	96	116	25	6,527	816	1.15	0.83
3	111.7	300	200	74	33	8,874	3,641	1.16	0.81
4	108.3	582	403	151	64	19,556	5,357	1.31	0.87
5	108.6	447	306	116	49	10,789	3,536	1.36	0.94
6	105.4	523	353	138	57	17,456	7,541	1.31	0.93
7	106.4	608	368	180	64	21,592	7,718	1.20	0.94
8	107.0	459	296	133	49	17,562	6,120	1.32	0.95
9	P 105.7	693	392	249	71	17,298	8,906	1.33	0.96
10		502	301	135	53	19,106	7,222	1.27	0.97
前月比%	-1.2	-27.6	-23.2	-45.8	-25.6	10.5	-18.9	-0.06ポイント	0.01ポイント
前年同月比%	-2.6	-4.7	-13.3	-13.5	-5.2	31.2	102.6	0.16ポイント	0.18ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証	青森労働局			

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー販売額 (百万円)	新車登録台数 (台)	乗用車登録届出数 (台)	消費者物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯家計消費支出額 (青森市) (円)	雇用保険		青森県景気ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎんBSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2009 (H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010 (H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011 (H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012 (H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013 (H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2014 (H26)	177,667	31,736	52,046	103.0	259,815	-	11,408	-	-
2014 (H26) 8	16,226	1,878	2,730	103.8	278,121	7,895	836	-	-
9	13,450	2,941	4,627	104.0	219,929	7,288	788	-	-
10	13,856	2,395	3,625	103.9	243,461	6,719	792	43.9	-
11	14,465	2,375	3,836	103.2	234,406	6,116	636	-	-7.8
12	18,323	1,662	3,980	103.2	285,101	6,807	711	-	-
2015 (H27) 1	14,553	2,150	3,374	103.3	272,977	11,045	1,717	39.8	-
2	13,005	2,545	3,984	102.5	240,985	9,131	1,217	-	-19.2
3	15,106	4,065	6,526	103.1	283,906	7,176	877	-	-
4	13,756	2,570	3,578	103.2	270,812	6,870	855	50.5	-
5	14,743	2,053	3,044	103.2	242,091	7,384	862	-	-2.2
6	13,942	2,556	3,735	103.1	211,436	7,583	848	-	-
7	14,111	3,034	4,056	103.4	237,365	7,550	888	53.3	-
8	15,437	1,958	2,767	103.4	267,869	7,559	807	-	-
9	12,845	2,913	4,244	103.7	224,094	7,020	814	-	5.1
10	P 13,663	2,486	3,283	103.4	264,004	6,288	689	49.3	-
前月(期)比%	-	-14.7	-22.6	-0.3	17.8	-10.4	-15.4	-4.0ホ* イト	7.3ホ* イト
前年同月(期)比%	3.5	3.8	-9.4	-0.5	8.4	-6.4	-13.1	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※百貨店・スーパー販売額(2015.7 大型小売店販売額を名称変更)の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2009 (H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010 (H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011 (H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012 (H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013 (H25)	255,696	317	191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2014 (H26)	296,117	319	180	120,530	22,969	7,733	34,824	132,609	177,830
2014 (H26) 8	2,911	510	-	13,172	2,686	593	2,288	10,024	12,037
9	23,426	249	138	28,591	4,270	605	2,823	7,160	14,267
10	27,950	237	210	26,344	4,297	695	1,750	12,937	16,448
11	25,302	275	174	22,175	4,374	589	1,453	8,463	11,690
12	27,055	304	149	7,914	1,794	625	4,496	11,667	10,914
2015 (H27) 1	36,964	287	156	2,169	736	593	2,258	14,281	19,335
2	37,926	286	182	1,816	648	337	2,890	9,245	9,440
3	37,801	295	205	3,020	1,041	548	1,463	11,700	11,901
4	31,672	334	292	1,180	485	558	2,651	8,238	19,151
5	21,934	403	-	797	228	611	1,868	12,407	12,624
6	13,480	447	-	2,839	748	589	3,130	11,812	14,205
7	9,465	521	-	10,640	1,409	746	914	10,388	16,376
8	2,490	523	-	9,654	1,986	488	1,518	12,935	14,644
9	26,192	258	156	16,410	3,010	400	1,117	8,953	31,328
10	26,121	280	247	25,200	3,494	476	2,095	12,160	11,829
前月比 %	-0.3	8.5	58.3	53.6	16.1	19.0	87.6	35.8	-62.2
前年同月比%	-6.5	18.1	17.6	-4.3	-18.7	-31.5	19.7	-6.0	-28.1
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数

### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数 (件)
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	
2014(H26)	10.7	1,483.5	1,735.0	13,560
2014(H26) 9	19.2	70.0	208.7	1,231
10	12.8	146.5	170.6	1,059
11	8.1	63.5	102.2	872
12	0.0	238.5	25.5	1,057
2015(H27) 1	-0.2	133.5	43.0	1,395
2	1.2	45.0	96.4	971
3	4.6	56.5	141.0	1,273
4	9.9	81.0	189.8	858
5	15.1	69.5	255.0	883
6	18.1	57.5	208.0	982
7	22.8	65.0	179.3	1,075
8	23.6	72.0	184.6	1,501
9	19.4	65.0	153.4	1,036
10	12.2	76.5	147.6	1,016
前月比 %	-7.2°C	11.5ml	-5.8h	-1.9
前年同月比%	-0.6°C	-70.0ml	-23.0h	-4.1
資料出所	気象庁			外務省

### ☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2013(H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	18.6	7.5	24.1
2014(H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-13.6	-15.0	-10.5
7~9月	4.7	-24.2	-15.4
10~12月	5.4	-20.0	-10.2
2015(H27)			
1~3月	-31.7	-7.3	-14.3
4~6月	-7.0	6.1	-3.2
7~9月	6.1	15.1	-2.5
10~12月	-13.4	0.0	-7.7
資料出所	青森銀行BSI('15.10~12月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2014(H26) 9	290,838	178,268	232,878	704	327	639	126	74	115
10	290,646	178,279	232,860	496	271	525	116	111	100
11	290,555	178,209	232,858	559	309	495	182	88	92
12	290,452	178,162	232,781	401	189	321	177	56	114
2015(H27) 1	290,251	178,098	232,634	478	255	474	52	44	114
2	289,946	177,945	232,506	604	334	522	40	98	67
3	289,723	177,715	232,398	1,060	511	728	75	39	74
4	288,212	176,524	231,490	576	238	643	156	70	152
5	288,791	176,923	231,554	494	216	463	103	63	122
6	288,639	176,865	231,485	594	368	525	158	92	98
7	288,408	176,721	231,472	862	314	689	155	72	158
8	288,275	176,726	231,385	446	233	436	125	77	110
9	288,029	176,590	231,337	702	333	605	219	78	165
10	287,881	176,567	231,243	609	260	507	107	74	96
11	287,709	176,521	231,168						
前月比 %	-0.1	-0.0	-0.0	-13.2	-21.9	-16.2	-51.1	-5.1	-41.8
前年同月比%	-1.0	-1.0	-0.7	22.8	-4.1	-3.4	-7.8	-33.3	-4.0
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2014(H26) 9	0.79	0.77	0.97	1	25	3	330	0	0
10	0.78	0.79	0.98	0	0	1	57	2	1,200
11	0.77	0.69	0.97	2	40	0	0	1	450
12	0.64	0.54	0.83	1	34	1	11	1	14
2015(H27) 1	0.59	0.48	0.76	4	637	0	0	0	0
2	0.76	0.58	0.83	3	1,833	0	0	0	0
3	0.82	0.64	0.86	1	821	1	250	1	300
4	0.78	0.62	0.81	1	37	1	45	1	16
5	0.85	0.63	0.81	4	144	0	0	1	43
6	0.89	0.61	0.85	0	0	0	0	0	0
7	0.93	0.60	0.90	1	26	0	0	0	0
8	0.97	0.74	1.00	0	0	1	85	1	100
9	1.06	0.88	1.07	1	43	0	0	1	148
10	1.00	0.95	1.02	3	193	2	200	1	28
11				0	0	1	15	0	0
前月比 %	-0.06 ポイント	0.07 ポイント	-0.05 ポイント	-100.0	-100.0	-50.0	-92.5	-100.0	-100.0
前年同月比%	0.22 ポイント	0.16 ポイント	0.04 ポイント	-100.0	-100.0	-	-	-100.0	-100.0
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による